

1 ■座間市パソコンサポートクラブ

- ・ 私たちのクラブを紹介いたします

1. 本日の参加に対するお礼
2. 説明会の最後にクラブの活動に賛同していただいた方に、応募用紙を出していただくこと。

2 ■クラブがめざすもの

- ・ 市民のための IT 普及
- ・ 主として初心者対象のパソコン講習を行う

1. ITが生活の必需品になっているので、市民の誰もがパソコンを使えるようになること。
2. 市と協議しながら、市民のニーズを汲み取り、活動計画を組んでいること。

3 ■どんなクラブか

- ・ 利益を追求しない非営利団体
- ・ 会員は無償のボランティア

1. 市から委託され、市民に対するパソコン普及事業を行う団体であること。
2. 市の基本方針に沿った活動計画によって運営していること。
3. 市の予算で運営されるため、受講者に安価な講座を提供。ただし、民業を圧迫しないよう配慮も必要。
4. クラブの会員は、時間、知識、労力などすべて無料奉仕であること。

4 ■クラブの生い立ち

- ・ 平成 15 年 1 月に広報で講師募集
- ・ 平成 16 年 2 月設立総会を開催、スタート

1. 市によって、平成 15 年 1 月にざま広報でパソコン指導者募集。スキルチェックが行われ、応募者の約半数が合格。
2. 合格者に対して、15 年 2 月から 10 月までの 9 ヶ月間、市が開催した専門講師によるパソコンボランティア養成講座が行われた。
3. 平成 16 年 2 月に設立総会が行われ、33 名でスタートした。
4. 正式のクラブ名が決定され、会則作り、組織作り、ホームページ作りなどが会員の手で行われた。
5. 以降、本日に至るまでパソコン普及活動を続けている。

5 ■ クラブの組織

- ・ 総会
- ・ 役員会
会長 副会長 会計 書記
- ・ グループ
A C D に各グループ長
- ・ ホームページ部会
部会長 メンテナンス担当 企画サポート

1. 役員は、グループ長が自動的に兼任する。役員会の役割について。
2. グループ長の選出方法。グループ長の役割について。
3. ホームページ部会の担当の選任。部会の役割について。

6 ■ クラブの活動

- ・ 市主催パソコン講座
- ・ クラブ主催パソコン相談会

1. 市主催の講座と、クラブの自主講座の相違点について。
2. パソコン相談会の目的。

7 ■ ZPSCホームページのトップページを表示する

1. ホームページの内容を紹介
2. 一般ページとメンバーバースページ
3. 講座に使う資料や役員会議事録
4. メンテナンスの記録

8■ 市主催パソコン講座の進め方

- ・ グループ別講座企画
- ↓
- ・ 市および担当講師打ち合わせ
- ↓
- ・ 講座実施
- ↓
- ・ 反省会

新会員が入会すると、どんなことをするのか興味のあるところなので、できるだけ具体的に、企画から反省会までの、流れを説明する。

1. グループ単位で講座を行うこと。
2. 講座リーダー、講師、サブ講師を決める。それぞれの役割の説明。
3. カリキュラムの作成。講師は講座用の講師マニュアルを作る、など作業手順の概略を説明。

次に講座を写真で紹介しましょう。



9■写真

- ・ 名札、テキストなどを並べて受付をつくる

1. 講座当日は受付を作り、看板を書いて、テキスト名札、出席者名簿などを準備して参加者を待つ。

この時点で、16名の参加者氏名は確定している。

2. 参加者の決まり方は、ざま広報で募集。参加希望者は、開催公民館へ申し込む。応募多数の場合は、公民館で抽選する。昨年度の応募倍率は、約2～3倍程度

10■写真

・ パソコンを出して会場の準備

1. 講座開始の1～2時間前から会場の準備を開始。
2. パソコンを収納庫から出して、すぐ使えるようにセットする。プロジェクター、プリンター、LANの設定から、机の配置具合にまで気を遣う。
3. インターネットを使う講座では、講座前日にパソコンの設定を行うときもある。

11■写真 受講者の受付け

開始時間が近くなると、受講者が続々集まってくる。

1. テキスト、名札、アンケート用紙を渡し、受講者の出席チェックをする。
2. テキスト代などの実費を領収する。

12■写真 講師がテキストを使って講座開始

1. 16名の定員はいつも満席。2～3倍の応募者から当選したラッキーな人たち。
2. 市主催の講座は、公民館職員の挨拶から始まり、続いて講師、サブ講師の紹介。
3. 講師も受講者も真剣だが、和やかな雰囲気。

13■写真 サブ講師はいつでもサポートできる体制で待機

1. 16人の受講者に対して、周りに待機するサポートするサブ講師は通常4～5名程度。
2. 講座の悩みは、初心者が対象の講座でも、早い人、遅い人さまざま。
3. 講師の話についていけない人もいる。サポート役のサブ講師は、講座をスムーズに進行させる大切な役目。
4. 新会員は、最初はサブ講師でも、次第に講師を担当していただくことになります。

14■写真 講座終了後のあとかたづけ

1. 講座が終わり、受講者が帰ったあとは、きれいに元通りにあとかたづけ。
2. 毎週1回、4週間つづく長丁場。

15■ クラブ主催パソコン相談会

- ・ クラブ活動のひとつ
- ・ 予約不要、相談料無料
- ・ 公民館3館で年間を通じて実施

1. パソコン相談会を行っている主旨説明
2. 各グループが、3館で月1回～2回を年間を通じて行っている。
3. 自主活動の一環だが、公民館もバックアップしている。

16■ グラフを表示

- ・ パソコン相談会(昨年度の主な相談内容)

ここ数年の相談傾向など

17■ パソコン相談会を行う

- ・ 看板書きから、パソコンの設置など会場の準備をする
- ・ どんな相談にも、親切に対応する。常連さんも多い
- ・ 使い慣れた自分のパソコンを持参。会場のパソコンも使える

講師は

1. 相談会は、完全に個人授業。テキストはなく、あくまで参加者の質問に答える方式。
2. 難しい質問や、知らない質問が出たら、他の講師にヘルプを求める。
3. 最低月に1回行われるので講師間の貴重な打合せの場でもある。

出席者は

1. 講座でわからなかったことをマンツーマンで質問できる。
2. 講座に出られなかった人も、自分のわからないことを納得いくまで勉強できる。
3. 年間の予定が発表されているので、計画的に出席できる。
4. リピート参加者の割合が高い。（昨年度は約70％）

18■ 前年度の活動内容

- ・ 市主催講座年間9回(1回=1日3時間・4日間)
 - 「ほんとうにはじめてのパソコン講座」3回
 - 「ワード入門講座」3回
 - 「エクセル入門講座」3回
- ・ パソコン相談会
1回2時間 総計67回

1. 前年度の活動実績を紹介

出席者に、実際のクラブの活動内容がイメージできるよう、具体的な実績数字を説明に入れる。

19■ 講師に求められること

- ・ 初心者対象の講座なのでパソコンの基礎的知識があればOKです
- ・ 簡単なことを初心者にわかりやすく教える能力
- ・ 共同作業をみんなと協調していけること

1. クラブの会員は、パソコン初心者に教える講師が仕事です。クラブは

パソコンを教えてもらうことが目的の場ではないこと。

2. 講師は、パソコン操作の知識があるほうがいいですが、もっと大切なのは、初心者にわかりやすく教えることができる能力の方が求められること。

難しい知識を、初心者に見せびらかす、自己満足型の講座にならないよう心がけています。

3. パソコン操作で簡単にできることでも、講師として言葉で人に教えるには、別の難しさがあること。

教え方を勉強することによって、自分の知識も次第に確かになっていきます。こんな努力をしていきたいと考えていること。

4. クラブは、講師自身の生涯学習の場であり、受講者に満足していただくことによって、生きがい、やりがいを感じます。会員同士が協力して活動を進めていくことが大切であること。

20 ■ 活動拠点の説明

Aグループ→主に東地区文化センターで、土、日午後

Cグループ→主に座間市公民館で、平日午後

Dグループ→主に北地区文化センターで平日午後

1. グループ配属の説明

グループ間の人員のバランスから希望通りのグループに配属出来ない場合の相談など。

2. 各グループの活動拠点と、おもな活動曜日、時間などの説明。

3. 活動拠点以外の館で、講座や会議をを行うこともあること。

21 ■ ありがとうございました

このあと、質問時間とします。

今日の説明で応募してみたいと思われる方には、応募用紙をお配りしますので、ご記入の上、お帰りの際にお出してください。